



教育に新しい選択肢を

大地の学校ロータス 今井真央

現在、学校外で学び育つ子どもたちは全国で13万人以上いるといわれています。その中でリースクールに通う子どもたちは3%、適応指導教室に通う子どもたちは10%とごくわずかで、9割近い子どもたちが家以外の居場所が無く在宅で過ごしています。その中には「不登校」という言葉につくネガティブイメージや、「学校に行くのが当然」という社会風潮によって、外に出られなくなってしまうという子どもたちがいます。教育が選べないが故に生じてしまっている社会問題を変えるために、大地の学校ロータス(リースクール)を2020年4月に開校致しました。小学生(中学生までの子どもたちが公立学校の代わりに毎日元気に通っています)。

畑や田んぼに囲まれた自然豊かな環境に300平米の敷地、屋内には卓球台やピアノ、ウクレレや絵本などが置かれています。障害の有無にかかわらず多種多様な子どもたちのびやかに過ごせるよう校内のルールは、子どもたち自身で話し合っ決めていきます。学年はもちろん、学習のスピードが一人一人違うためパソコン教材を使って個別学習をしています。他にも毎週水曜日に大学生ボラ

ンティアが行う学習支援や、進学を希望する子には仲川学院の仲川先生との総合学習サポートを選ぶことができます。

『自分で考え、行動できる人を育てる』を理念に、一日のスケジュールやイベントなどの行事は子どもたちが決められます。動物園に社会見学に行き、将

来の夢を具体的にイメージしたり、夏祭りで焼鳥屋やかき氷屋などを子どもたち主導で運営することで、実社会で生きる術を学んでいます。

子どもはいつか、親の手を離れ自分の足で歩かねばいけません。自分の足で大地を踏みしめ歩めるよう、探求できる場を子どもたちと共に創っていきたいと思います。



読み聞かせグループ『絵夢』

絵夢代表 永井 美香

学校ボランティアとしての活動は約二十一年が経ちました。今のような竜谷小学校の一年生から六年生の各クラスに入り、読み聞かせを始めたのは平成十四年からです。

月二回、水曜日、朝八時十分から二十五分の十五分間、当番がクラスに入り、自分の選んできた絵本を読み聞かせします。絵本なしでストーリーテリング(語り聞かせ)をするメンバーもいます。十月の学芸会では、体育

館の大スクリーンに絵本を映し、配役を決めたメンバーみんなで読み聞かせをします。毎年、子供たちは大画面での読み聞かせをとて楽しんでくれます。(今年度はコロナ禍のため中止になり残念でした。)

他の活動としては、月一回の保育園で読み聞かせ(今年度は中止)、年二回の藤川・竜谷合同、民生委員児童委員主催の子育て支援“さくらんぼ”での読み聞かせをしています。現在行っていないですが、ふれあい健康クラブで八月におじいちゃん・おばあちゃんと子供たちとのふれあいとして、絵本・紙芝居、手あそびなど一緒に楽しむ活動を十年間行いました。



子供たちは、読み聞かせを楽しみにしてくれていて、キラキラと目を輝かせ、絵本に夢中になってくれます。子供たちと一緒に絵本を楽しむ時間を持てるということは、私たちにとってとても幸せなことです。絵本は心の栄養です。絵本をたくさん子供たちに読み、素敵な時間を共有していきたいです。

読み聞かせグループ『絵夢』では、読み手になってくださる方を募集しています。

(本の好きな方、読み聞かせに興味がある方、年齢は問いません。)



学区の活動団体紹介

竜谷消防団

団長 名倉 章弘

日頃は、消防団活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

竜谷消防団は、昭和三十年二月に設置され、団員 四〇名の組織となっています。また、主な設備としては、ポンプ付き積載車・・・一台 および小型ポンプ積載車・・・二台を保有しています。設立以来、地域の安全・安心を守るため日夜活動して参りました。

日頃、毎月の機械器具点検および水出し訓練、またポンプ操法大会および消防技術発表会への出場、そして近隣地区消防団との合同訓練など、日々訓練に励んでいます。

また夏には竜谷学区夏祭りの警備、地域の防災訓練への参加をさせていただいています。

竜谷消防団はこれまで「無火災消防団」として十回の表彰を受けており市内最多の記録であります。これも地元の皆様の日頃からの防災活動のおかげと感謝しております。

ただ災害の少ない地域ではありますが、



災害はいつ我が身に振りかぶってくるかわかりません。寺田寅彦という物理学者の「天災は忘れた頃にやってくる」、シエークスピアーの「安心、それが人間のもっとも身近にいる敵である」との言葉があります。地域の皆様におかれましても常日頃の備えを怠ることが無いようにお願いしたいと思います。

我々、竜谷消防団も今一度身を引き締め、今まで以上に地域防災を牽引していけるように精進していきたいと考えております。

これからも消防団活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。



交通安全指導員の活動について

愛知県交通安全協会岡崎支部
竜谷分会班長 山本達也

初春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は交通安全指導員の活動に格別のご高配にあずかりまして厚くお礼申し上げます。

岡崎市内では約三四〇名の方々が交通安全指導に携わっており、竜谷学区においても七名の方がボランティアとして従事しております。構成メンバーは男性五名・女性二名となっており、現役で仕事をやりながらの方も四名おり、平日の活動は難しい状況です。

まず初めに、指導員の活動はあまり知られていないようですので、紹介させていただきます。主な活動は次のとおりです。

★春、夏、秋、年末の交通安全県民運動
児童等の登校時、横断歩道や見通しの悪い場所での交通指導及び保護活動の実施。
★岡崎市の家康行列、花火大会、市民駅伝
交通整理、交通安全街頭活動、及び主要道路での交通指導の実施。

★学区の連合大運動会、夏祭り、敬老会
小学校へ来られる方々の車の駐車場整理及び歩行者の交通指導の実施。
他にも年末の夜警なども実施していますので、通勤時間や帰宅時間帯に警察官と同じような制服に身を包んでいる指導員を見かけられた方もおられるのではないのでしょうか。

最後に、『交通安全』に関心をもち『活動してみたい』と思われる方を交通安全指導員として募集させて頂きたいと存じます。

男女を問わず、青年・壮年及び団塊世代の方も歓迎いたします。ボランティア活動ですから束縛されることもありません。また、活動を通じて地域の皆様との交流の一層深まり、自分の行いが地域に役立てられる機会を与えられたという満足感、人生の喜びとなるのではないかと思います。



郷土の文芸

竜泉寺町俳句会雑詠

紙飛行機 春立つ空へ 放しけり
ふんわりと 春満月の 出でにけり

紉子

行く秋や 紙をまるめて 遠眼鏡

こおろぎの 鳴く暗闇の もらい風呂

ときと

梅林を 空より眺む 観覧車

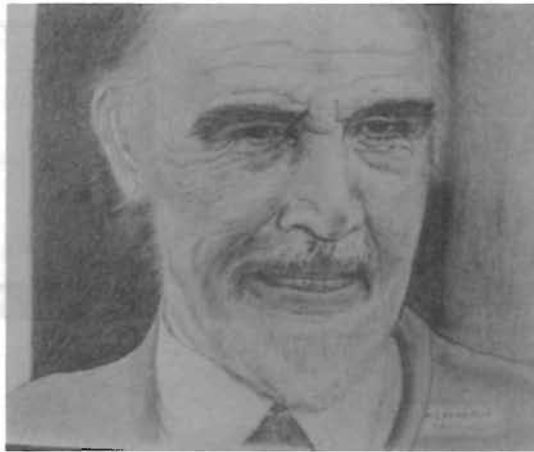
麦秋や 空を案じて 収穫す

文代

戸を開けて 金木犀の 朝を吸う
青む田の 道に一人の 初日の出

進

私の趣味
(鉛筆画)



ジョン・コネリー



竜泉寺川風景

皆様の作品を募集します。絵画・写真・彫塑などご自分の趣味を披露しませんか。福祉委員会広報担当磯谷までご連絡ください。

令和2年を振り返って — 福祉委員会の活動記録 —

6/10 第1回役員会開催

令和2年度の事業・活動方針について検討会議

7/8 第2回役員会開催

令和2年度事業計画決定



7/15 フレイル担当者会議を開催 (写真上)

新規事業として「フレイル診断キッド」を購入し、フレイル度診断体制を整えました。ポッチャを取り入れたフレイル予防 認知症予防のための手品教室を役員が受講『ふれあい散歩実行委員会』を立ち上げ、以後開催に向けた打合わせ会を毎月実施

8/11 ポッチャで「岡崎市いちょうの家」をボランティア訪問

ポッチャゲームを通じて子どもたちに、一時の安らぎを満喫していただきました。

8/19 第3回役員会開催

岡崎市地域福祉計画（5カ年計画）、4年目の取組成果と評価の可視化を図る。

9/23 安全講話・避難訓練を開催 (写真下)

岡崎市市民生活部防災課、竜谷学区防災指導者



3/1/13 ミソ端会議開催

議題：岡崎市地域福祉計画、新たな取組に向けて

2/1 「ふれあい散歩」スタート

竜谷学区福祉委員会が推進するフレイル予防対策事業の第3弾です。

3/ 第4回役員会開催予定

令和2年度の活動結果と3年度事業計画等について意見交換

フレイル講習会開催

8/21 第1回 岡崎市長寿課、 10/9 第2回 スギ薬局稲熊店、 12/4 第3回 スギ薬局稲熊店

編集後記
御多忙の中、紙面作成にご協力いただきました皆さま方には本当にありがとうございました。皆様からのご感想もいただき、誠にありがとうございます。令和2年度は、コロナウイルス感染症予防ということで、委員全員参加の委員会を一度も開催できなかったまま年度末を迎えることとなりました。また学区の皆さま方が毎年参加を楽しみにされている視察研修旅行も中止となりました。▼そんなコロナウイルス禍の中にあつて、包括支援センターさんご協力のもと「フレイル予防のための『ふれあい散歩』」を企画立案し、令和3年二月一日からスタートさせました。老いることは仕方のないこと。その老化の歩みを少しでも遅らせ健康な体力を維持し、認知症予防にも役立てようというのが目的です。▼今後とも委員会活動へのご参加とご協力を、よろしくお願ひ申し上げます。